

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

令和 2 年
(2020年)

5 月号



動鳴気峡の桜 (田辺市稲成町)

第1回(3月)定例会

令和2年度一般会計予算(当初予算)などを可決

令和2年第1回(3月)定例会は、2月26日に開会し、3月25日までの29日間の会期で開催され、「令和2年度一般会計・特別会計予算」等の当初予算及び、田辺市長等の市に対する損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定など提出議案47件のうち、46件を原案のとおり可決したほか、斎場条例の一部改正については、上程後に市長からの議案撤回の申し出を承認しました。

このほか、議員提出議案5件のうち、意見書2件については可決、条例2件及び決議1件については否決しました。

本定例会では、3月9日・10日の2日間にわたり、8人の議員が一般質問に立ちました。

目次

- ・議決結果について …… P 2～3
- ・賛否が分かれた議案 …… P 3
- ・一般質問 …… P 4～5
- ・可決した意見書ほか …… P 6
- ・政務活動費収支報告 …… P 7
- ・第2回(6月)定例会予定、議会日誌ほか …… P 8

田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスできます。



QR
コード

件 名		議決結果
1 定議案第 1 号	工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
1 定議案第 2 号	工事請負変更契約の締結について	
1 定議案第 3 号	損害賠償の額の決定及び和解について	
1 定議案第 5 号	令和元年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	
1 定議案第 6 号	令和元年度田辺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	
1 定議案第 7 号	令和元年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	
1 定議案第 8 号	令和元年度田辺市診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）	
1 定議案第 9 号	令和元年度田辺市四村川財産区特別会計補正予算（第 1 号）	
1 定議案第 10 号	令和元年度田辺市水道事業会計補正予算（第 2 号）	
1 定発議第 1 号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書の提出について	
1 定議案第 12 号	田辺市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	
1 定議案第 13 号	田辺市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	
1 定議案第 14 号	田辺市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	
1 定議案第 15 号	田辺市手数料条例の一部改正について	
1 定議案第 16 号	田辺市議会議員及び田辺市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	
1 定議案第 20 号	田辺市景観条例の一部改正について	
1 定議案第 21 号	田辺市営住宅条例の一部改正について	
1 定議案第 22 号	田辺市教育研究所条例の一部改正について	
1 定議案第 23 号	田辺市体育施設条例の一部改正について	
1 定議案第 24 号	植芝盛平記念館条例の制定について	
1 定議案第 25 号	市道路線の認定について	
1 定議案第 26 号	市道路線の変更について	
1 定議案第 27 号	市道路線の廃止について	
1 定議案第 28 号	田辺市の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	
1 定議案第 33 号	田辺市介護保険条例の一部改正について	
1 定議案第 35 号	令和 2 年度田辺市分譲宅地造成事業特別会計予算	
1 定議案第 36 号	令和 2 年度田辺市同和対策住宅資金等貸付事業特別会計予算	
1 定議案第 37 号	令和 2 年度田辺市農業集落排水事業特別会計予算	
1 定議案第 38 号	令和 2 年度田辺市林業集落排水事業特別会計予算	
1 定議案第 39 号	令和 2 年度田辺市漁業集落排水事業特別会計予算	
1 定議案第 40 号	令和 2 年度田辺市戸別排水処理事業特別会計予算	
1 定議案第 41 号	令和 2 年度田辺市診療所事業特別会計予算	
1 定議案第 42 号	令和 2 年度田辺市駐車場事業特別会計予算	
1 定議案第 43 号	令和 2 年度田辺市木材加工事業特別会計予算	
1 定議案第 44 号	令和 2 年度田辺市四村川財産区特別会計予算	
1 定議案第 45 号	田辺市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	
1 定議案第 46 号	令和 2 年度田辺市水道事業会計予算	
1 定議案第 47 号	令和 2 年度田辺市特定環境保全公共下水道事業会計予算	
1 定発議第 3 号	防災・減災、国土強靱化のための 3 か年緊急対策事業の期間延長を求める意見書の提出について	

件名		議決結果
1 定議案第 4 号	令和元年度田辺市一般会計補正予算（第 11 号）	原案可決 (賛成多数)
1 定議案第 11 号	田辺市長等の田辺市に対する損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	
1 定議案第 18 号	田辺市市街地活性化施設条例の制定について	
1 定議案第 19 号	田辺市市街地活性化施設の指定管理者の指定について	
1 定議案第 29 号	令和 2 年度田辺市一般会計予算	
1 定議案第 30 号	田辺市国民健康保険税条例の一部改正について	
1 定議案第 31 号	令和 2 年度田辺市国民健康保険事業特別会計予算	
1 定議案第 32 号	令和 2 年度田辺市後期高齢者医療特別会計予算	
1 定議案第 34 号	令和 2 年度田辺市介護保険特別会計予算	
平成 31 年 1 定発議第 1 号	田辺市太陽光発電設備の設置等に関する条例の制定について ※継続審査となっていたもの	原案否決 (賛成少数)
1 定発議第 2 号	田辺市犯罪被害者等支援条例の制定について	
1 定発議第 4 号	市に対し、猛省と信頼回復へのさらなる努力を求める決議	
1 定議案第 17 号	田辺市斎場条例の一部改正について	撤回承認

賛否が分かれた 議案	議案の可否	紀新会				篤志会				清新会			公明党			日本共産党		くまのクラブ		誠和会			
		尾花功	宮井章	市橋宗行	安達克典	塚寿雄	高田盛行	福榮浩義	松上京子	浅山誠一	橘智史	柳瀬理孝	北田健治	小川浩樹	佐井昭子	出水豊数	川崎五一	久保浩二	前田佳世	安達幸治	陸平輝昭	中本賢治	二葉昌彦
令和元年度田辺市一般会計補正予算（第 11 号）	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
田辺市長等の田辺市に対する損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
田辺市市街地活性化施設条例の制定について	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
田辺市市街地活性化施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和 2 年度田辺市一般会計予算	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
田辺市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和 2 年度田辺市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和 2 年度田辺市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和 2 年度田辺市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	/	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
田辺市太陽光発電設備の設置等に関する条例の制定について	否決	×	×	×	/	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×
田辺市犯罪被害者等支援条例の制定について	否決	×	×	×	/	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×
市に対し、猛省と信頼回復へのさらなる努力を求める決議	否決	×	×	×	/	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×

【○…賛成 ×…反対】

※議長（安達克典）は議決に加わらないため斜線としています。

※編集の方針上、「くか」「くである」といった文体に統一しています。

市役所移転における民意の尊重の認識について 川崎五一議員

議 庁舎の移転候補地を選ぶに当たって直接住民の声を聞いたか。

市 適当な市有地がなく途中で公表すると地権者等に迷惑をかけるおそれがあり最終的に市の責任で決めた。市民の皆様には、まちづくり報告会等で説明した上で意見を伺い、議会で認めていただいた。

議 意見を聞いてもらえなかった市民が東山への移転の是非を問う住民投票を求めているが、市自ら住民投票を実施する考えは。

市 市民の皆様の意見を聞きながら進めてきた。議会での3分の2以上の特別多数議決を経たことは非常に重い。

議 住民投票を求める声は尊重されるべき。

被災後のまちづくり（事前復興計画）について 久保浩二議員

議 南海トラフ巨大地震・大津波の被害が予測される中、復興に長期間を要している東日本大震災での課題・教訓を踏まえ、復興まちづくりの利用適地の選定、仮設住宅用地の確保、地域産業の強化・支援等を進めるとともに、被災後のまちづくりについて市民と協働で考え、早期に合意形成を図るべきではないか。

市 大規模災害への対応は本市の最重要施策の一つであり、防災・減災対策とともに、被災後に迅速かつ円滑に復旧・復興を行うため、本市の状況に即した事前復興計画の策定を進めたい。

議 早急に事前復興計画を策定しなければ、被災後、市民の生活再建ができない。

義務教育における保護者負担について 前田佳世議員

議 憲法では義務教育は無償とされている。旧教育基本法が制定されたのは終戦直後の復旧復興期で、授業料に限る不徴収にとどまっていたが、高度経済成長を果たした現在でも高額な保護者負担への依存が続いている。就学援助の基準緩和、給食費の無償化や減免など保護者負担軽減を行うことの実施についてどう考えるか。

市 困窮世帯への援助に漏れのないようきめ細かな対応に努めたい。給食費は現時点では現行制度により実施したい。

議 将来を見据えた新庁舎の規模に抑えれば、維持費や借金返済額で毎年約2億円節約でき、保護者負担軽減は不可能ではない。

8050問題への取り組みについて 福榮浩義議員

議 ひきこもりが長期高年齢化することで、支える立場であった親も高齢化し、心理的にも経済的にも子供を支えきれなくなる社会問題に対し、市はどのように対応しているのか。

市 本市におけるひきこもりの方の数は、家族がひきこもりを人に知られないようにしていることも多いことから、確定することが難しい状況にある。相談は、ひきこもり相談窓口等で受け付けており、困ったときに気軽に相談できる窓口の周知を図るとともに、関係機関と連携しながら、適切な支援ができるようさらに取り組んでいきたい。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

一般質問

※編集の方針上、「〜か」「〜である」といった文体に統一していません。

就職氷河期世代支援を目的とした職員採用試験の実施について 浅山誠一議員

議 過去の大量採用、市町村合併、採用枠の減少などにより市職員の年齢別分布は特に就職氷河期世代で少なくなっている。他市でも行われている就職氷河期世代を対象にした採用は社会的意義の大きさに加え、本市の年齢構成の是正という課題解決にもつながるため取り組むべきと考えるが、見解は。

市 幅広い年代から多くのよい人材を確保することを基本としており、これまでも応募資格の年齢上限を引き上げてきた。今後については定年が延長されることを見据え、更なる年齢上限の引き上げを検討したい。

国民健康保険の制度改革における医療費適正化について 松上京子議員

議 医療費適正化に対する自治体の取り組みを点数化し、それによって交付金が配分される努力支援制度の現状と取組強化策は。また、第三者行為求償事務の取り組み強化についての考えは。

市 評価得点の県内30市町村の順位は、平成30年度が15位、令和元年度が22位と推移している。今後は、特定健診受診率等に関する得点の向上に努めていきたい。第三者行為求償事務については、専門的な知識が必要となることから、研修等により職員の資質向上を図るとともに、県国保連合会等で第三者行為求償事務に関する環境整備が進められる中、今後どのような体制が必要か研究していく。

税金支払いのキャッシュレス化について 二葉昌彦議員

議 スマートフォン決済は、若年層を中心に今後の利用意向が伸びている。キャッシュレス決済は自宅でも支払いができ、利便性が高い。今後の納税方法の選択肢の一つとして考えてはどうか。

市 本年4月から、新たにスマートフォン決済4社のサービスを開始する。高齢化や過疎化が進む中、今後も、納税環境の整備を進めていきたい。

議 社会がスピード感を増し進んでいく中、市民が安心して生活できるように、住民サービスについても、先の社会を見つめ、新しい時代に合う、仕組みの提供に努められたい。

奨学金制度について

佐井昭子議員

議 地元に戻り、就職される学生に対して、奨学金の返還を肩代わりする制度が全国の自治体に広がっているが、本市でも制度設計できないものか。

市 奨学金の返還支援は、地元回帰への動機付けの一つとなり得る。短大、大卒の求職者の増加が期待され、地元企業における人材確保のメリットもあると考えられる。今後、田辺商工会議所や各商工会などとも連携を図りながら、他の自治体等の制度や効果も参考に調査、研究していきたい。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

第1回（3月）定例会で可決した意見書

第1回（3月）定例会では、以下の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関に提出しました。

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

（令和2年3月9日提出） ※抜粋

国においては、既に「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が打ち出され、さらに第2弾の緊急対応策として2,700億円を超える予備費を活用した各種施策が講じられることとなっているが、国民の命と暮らしを守ることを最優先に、下記の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. 感染の確認を迅速に行うため、簡易検査キットの開発・生産・供給調整など検査態勢の充実に向けた支援策を早急に講じること
2. 医薬品・防護用具等、必要な医療物資の全国的な生産・供給調整について、国の責任において、在庫量の不足や偏りを早期に是正すること
とりわけ、医療機関などにおける医療提供体制に支障が生じないように、医療物資の供給に万全な対策を講じること
3. 治療法及びワクチンの開発に官民挙げて取り組むこと
4. 経済活動への影響を最小限にするとともに、風評被害が生じないように、あらゆる対策を講じること
5. 県・市町村が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講じること
6. 小中学校、高等学校及び特別支援学校の臨時休業に伴って生じる課題に対し、具体的な対応策を早急に講じること
7. 社会の混乱を招く流言飛語に対し、迅速かつ適切に対応すること

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業の期間延長を求める意見書

（令和2年3月25日提出） ※抜粋

国においては、防災面あるいは国民経済・生活面を支える重要インフラ等の機能維持の観点から、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策として、平成30年12月、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策が取りまとめられたところであるが、これらの対策を着実に進めるためには、十分な予算と時間を確保する必要がある。また、近年の激甚化する災害状況を鑑みたとき、防災・減災、国土強靱化は、3か年緊急対策期間後も継続して取り組むべき事項であるとともに、更なる対策の強化が求められる。

よって、国におかれては、地方公共団体が緊急対策期間後も計画的に事業を推進することの必要性を踏まえ、防災・減災等の対策に必要となる予算・財源を安定的に確保し、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業の期間を延長されるよう強く要望する。

令和元年度田辺市議会議員研修会を開催しました

田辺市議会では、議員の能力向上を図るため、議員研修会を開催しています。

今回は、本市と包括連携協定を締結している和歌山大学との連携による研修会を開催しました。

内 容

《第一部》 大学教員からの講義

(1) 「第2期まち・ひと・しごと

創生総合戦略策定のポイント」

経済学部 准教授 藤田和史氏

(2) 「森林環境譲与税の内容と活用ポイント」

観光学部 教授 大浦由美氏

《第二部》 和歌山大生とのワークショップ



【令和2年1月31日 和歌山大学】

令和元年度政務活動費収支報告

政務活動費は、地方自治法及び田辺市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市から市議会の会派に対して交付されるもので、会派の所属議員数に月額2万円を乗じた額が交付されます。

会派の代表者は、政務活動費に係る収支報告書を作成の上、全ての支出について領収書を添付し、提出しなければなりません。また、残余金が生じた場合は市に返還しなければなりません。

令和元年度に交付された政務活動費の収支報告は次のとおりです。



令和元年度 政務活動費使途内訳 (平成31年4月～令和2年3月) 【会派別】

(単位：円)

所属会派名		紀新会	篤志会	清新会	公明党	日本共産党	くまのクラブ	誠和会
会派人数		5人	4人	3人	3人	3人	2人	2人
収入	交付額	1,200,000	960,000	720,000	720,000	720,000	480,000	480,000
	預金利息	6	4	2	6	3	2	2
	合計	1,200,006	960,004	720,002	720,006	720,003	480,002	480,002
支出	調査研究費	352,900	129,080	291,300	0	14,250	37,800	100,560
	研修費	0	20,000	0	0	144,461	109,600	298,120
	広報費	0	580,244	0	0	449,792	0	0
	広聴費	0	14,829	0	0	5,000	0	0
	要請・陳情活動費	217,600	0	130,560	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	15,292	0	0
	資料購入費	2,640	73,693	0	32,400	90,267	0	52,339
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
	合計	573,140	817,846	421,860	32,400	719,062	147,400	451,019
	返還額	626,866	142,158	298,142	687,606	941	332,602	28,983

(下へ続く)

会派構成

(○は会派代表者)

会派は、同じ考えや意見を市政に効果的に反映させるため、同じ主義・主張を持った議員が集まって結成しています。

【紀新会】^{きしんかい} ○尾花 功 宮井 章 市橋 宗行 安達 克典
塚 寿雄

【篤志会】^{とくしかい} ○高田 盛行 福榮 浩義 松上 京子 浅山 誠一

【清新会】^{せいしんかい} ○橘 智史 柳瀬 理孝 北田 健治

【公明党】^{こうめいとう} ○小川 浩樹 佐井 昭子 出水 豊数

【日本共産党】^{にほんきょうさんとう} ○川崎 五一 久保 浩二 前田 佳世

【くまのクラブ】 ○安達 幸治 陸平 輝昭

【誠和会】^{せいわかい} ○中本 賢治 二葉 昌彦

合計		
会派人数	22人	
収入	交付額	5,280,000
	預金利息	25
	合計	5,280,025
支出	調査研究費	925,890
	研修費	572,181
	広報費	1,030,036
	広聴費	19,829
	要請・陳情活動費	348,160
	会議費	0
	資料作成費	15,292
	資料購入費	251,339
	人件費	0
	事務所費	0
合計	3,162,727	
返還額	2,117,298	

議 会 日 誌

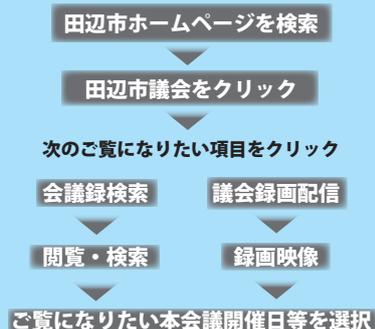
2月

【20日】 議会運営委員会
 【26日】 本会議（1日目）、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
 【27日】 本会議（2日目）

3月

【2日】 産業建設委員会、文教厚生委員会
 【3日】 総務企画委員会
 【9日】 本会議（3日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会
 【10日】 本会議（4日目）
 【11日】 産業建設委員会、文教厚生委員会
 【12日】 産業建設委員会、文教厚生委員会
 【13日】 議会運営委員会、総務企画委員会
 【16日】 本会議（5日目）、総務企画委員会、文教厚生委員会
 【25日】 本会議（6日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

市議会本会議の会議録や録画映像はインターネットからご覧いただけます



- 田辺市ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/>
- 田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>
※表紙のQRコードからもアクセスできます。
- 会議録検索ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>
- 議会録画配信ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりのみご利用いただけます。

【連絡先】
 田辺市議会事務局
 〒 646-8545
 田辺市新屋敷町1番地
 TEL 0739-26-9940（直通）
 FAX 0739-25-5579
 E-mail:gikai@city.tanabe.lg.jp
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

次回の「市議会だよりの」

8月号

（第2回（6月）定例会の報告）

令和2年第2回（6月）定例会の会期日程（予定）

第2回（6月）定例会の会期日程（予定）をお知らせします。

なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
6	16	本会議1日目（議案の提案説明ほか）
	25	本会議2日目（一般質問）
	26	本会議3日目（一般質問）
	29	本会議4日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	30	常任委員会（付託議案に係る審査）
7	1	常任委員会（付託議案に係る審査）
	7	本会議5日目（委員長報告、議案審議ほか）

※本会議の開会予定時刻は、6月16日及び7月7日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

春。別れと出会い、旅行、収穫など私達の暮らしに訪れる様々な春の一幕が未曾有のコロナ危機で一変しました。この原稿を書きながらも、皆様のお手元に届くころにはどのような事態になっているのか予想すら難しい状況です。

市議会は国や関係機関に意見書を出し、国民の命と暮らしを守ることを最優先に、医療、経済、教育や生活などにおける対策や支援を求めました。市民の皆様、何かお困りのことが生じた時は、どうぞお近くの議員にお声をおかけください。お寄せ頂いたお声を行政に届け、冷静かつ柔軟な対応で困難を乗り越えていけるよう努めてまいりたいと思います。「朝の来ない夜はない」を信じて。

（前田）

広報委員会
 委員長 安達 幸治
 副委員長 松上 京子
 委員 柳瀬 理孝
 “ “ “ “ 前田 佳世
 “ “ “ “ 宮井 章
 “ “ “ “ 中本 賢治
 “ “ “ “ 出水 豊数